

アカタン砂防 エコミュージアム

生きものリスト

アカタンには国の天然記念物や絶滅危惧種に指定された生きものも生息している。エコミュージアムを歩けばいろいろな生きものや落ち葉の生きものを見つけたり、時には出会うこともある。自然の中に飛び込んで生きものたちの命のつながりを探しに行こう。

いろいろな生きもの
さがしに行ってみよう！



絶滅危惧Ⅱ類 準絶滅危惧
★は国産産 ★は福井県のレッドデータブックより

ほ にゅう るい 哺乳類

名称	科和名	季節	備考
ツキノワグマ	クマ科	春夏秋	県内に約600頭が生息。ドングリなどを好み食料が少なくなると里へ下りてくる。
ニホンカモシカ	ウシ科	年中	ブナなどの広葉樹林に棲んでいる。特別天然記念物。
ヤマネ★	ヤマネ科	春夏秋	夜行性で主に樹上で生活する。日中は藪や鳥の巣箱で休息。天然記念物。
イノシシ	イノシシ科	年中	雑食性。最近生息数が増え、田畑などの農作物への影響も大きい。めた場が見られる。
テン	イタチ科	年中	イタチとよく似ている。フンをよく見かける。冬毛は鮮やかな黄色。
ニホンアナグマ	イタチ科	春夏秋	夕方から出没。トンネルのような穴を掘る。タヌキに似ているが、実はイタチ科。
ムササビ	リス科	年中	夜行性で樹上で生活。木と木の間に自由に飛ぶ。木の皮や果物を食べる。
ノウサギ	ウサギ科	年中	畑を荒らすので昔は罠を掛けて、捕まえていた。今は数が減っている。
ニホンザル	オナガザル科	年中	20～150頭ほどの群で生活する。サツマイモなど多くの作物への被害が大きい。
タヌキ	イヌ科	春夏秋	近郊の人家の近くまで生息する。家族単位で生活。
ハクビシン	ジャコウネコ科	春夏秋	雑食性。木に登り柿の実や農作物まで何でも食べる。外来種。



ツキノワグマ



ニホンカモシカ



ヤマネ



イノシシ



テン(はく製)

こん ちゅう るい 昆虫類

絶滅危惧Ⅱ類 準絶滅危惧
★は国産産 ★は福井県のレッドデータブックより

名称	科和名	季節	備考
アゲハ	アゲハチョウ科	春夏秋	花にとまって蜜を吸うとき、羽を斜めに揚(あ)げるとまることに由来する。
キアゲハ	アゲハチョウ科	春夏秋	アゲハチョウより鮮やかな羽を持つ。
ミヤマカラスアゲハ	アゲハチョウ科	春夏秋	暑い日はたまり水などで吸水するが実はオスだけ。カラスアゲハと似ている。
ギフチョウ★★	アゲハチョウ科	春夏秋	カタクリ、サクラ類、スミシキ科の蜜を吸う。春の女神と呼ばれるキレイな鳥。
オオムラサキ★	タテハチョウ科	春夏秋	日本の国蝶。オスの羽は見る角度で紫色に光る。幼虫はエノキの葉を食べる。
サカハチチョウ	タテハチョウ科	春夏秋	羽が逆さにしたハの字のように見えることに由来。
ツマグロヒョウモン	タテハチョウ科	春夏秋	メスの前脚は木の端を意味する襷(ツマ)が黒(クロ)くなる彪紋(ヒョウモン)蝶という意味。
オニヤンマ	オニヤンマ科	夏秋	日本最大のトンボ。恐ろしい顔つきと黒と黄色の体の模様か洗皮のふんどしをした鬼を連想させる。
ゴマダラカミキリ	カミキリムシ	春夏	背中模様かゴマダラのように見えることに由来する。



キアゲハ



ミヤマカラスアゲハ



ギフチョウ



サカハチチョウ



ゴマダラカミキリ